

ジェイシフ

JSHIF



夏

2012.8. NO.58

- 第24回通常総会・第67回理事会 — 2
平成23年度第1回情報交換会 — 4
第8回シンポジウム/第4回地域・スポーツ振興賞 — 5
「医療生活産業の品質認証」調査 — 6
会員紹介 — 7

公益社団法人 スポーツ健康産業団体連合会

平成24年4月1日 公益社団法人へと 移行しました

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 第24回 通常総会 第67回 理事会

役員名簿(平成24年6月12日現在)

(敬称略・50音順)

役員名	氏名	勤務	団体・会社名	役職
名誉副会長	中野 啓二郎	非常勤	株式会社イースタンスポーツ	代表取締役会長
代表理事 会長	斎藤 敏一	非常勤	株式会社ルネサンス	代表取締役会長
業務執行理事 副会長	岩井 大助	非常勤	株式会社エバニュー	代表取締役社長
業務執行理事 副会長	池田 朝彦	非常勤	公益社団法人日本ボウリング場協会	顧問
業務執行理事 副会長	林 有厚	非常勤	株式会社東京ドーム	代表取締役相談役
業務執行理事 専務理事*	板垣 勝男	常勤	公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会	専務理事
理事	浅井 光昭	非常勤	公益社団法人日本パブリックゴルフ協会	会長
理事	石橋 栄司	非常勤	びあ株式会社	エグゼクティブマネジャー
理事	大石 順一	非常勤	社団法人日本ゴルフ場事業協会	専務理事
理事	尾木 徹	非常勤	一般社団法人日本音楽事業者協会	会長
理事	加藤 誠	非常勤	株式会社ジェイティービー	観光戦略部長(観光戦略室長)
理事	加藤 昌治	非常勤	ミズノ株式会社	常務取締役
理事	香中 峰秋	非常勤	株式会社博報堂	ソーシャルアカウント局局长代理
理事	雑賀 昇	非常勤	公益社団法人日本テニス事業協会	会長
理事	重森 仁	非常勤	日本スポーツ用品協同組合連合会	理事長
理事	下光 輝一	非常勤	公益財団法人健康・体力づくり事業財団	理事長
理事	田中 喜代次	非常勤	筑波大学	教授
理事	丁野 朗	非常勤	社団法人日本観光振興協会	常務理事・総合研究所長
理事	杖崎 洋	非常勤	一般社団法人日本フィットネス産業協会	専務理事
理事	中島 順	非常勤	株式会社電通	ソーシャル・ソリューション局局长次長
理事	野川 春夫	非常勤	順天堂大学	スポーツ健康科学部 学部長
理事	原田 宗彦	非常勤	早稲田大学	教授
理事	馬場 宏之	非常勤	社団法人日本ゴルフ用品協会	会長
理事	平野 哲行	非常勤	株式会社平野デザイン設計	代表取締役社長
理事	三ッ谷 洋子	非常勤	株式会社スポーツ21エンタープライズ	代表取締役
理事	山本 為信	非常勤	山本光学株式会社	代表取締役会長
理事	米山 稔	非常勤	ヨネックス株式会社	ファウンダー名誉会長
理事	和田 清美	非常勤	株式会社アシックス	取締役会長
理事	渡邊 光康	非常勤	社団法人日本スポーツ用品工業協会	会長
理事	渡邊 光康	非常勤	公益財団法人大崎企業スポーツ事業研究助成財団	理事
監事	鎌田 章男	非常勤	株式会社朝日広告社	第一営業本部長
監事	小坂 勉	非常勤	千葉・小坂会計事務所	税理士

※専務理事 板垣 勝男 最終官歴 経済産業省関東経済産業局総務企画部次長

第24回 通常総会

2012年6月12日(火)、東京都千代田区の如水会館において第24回通常総会が開催された。代理出席および委任状出席を含めた28名が出席。

議長に選出された斎藤会長が挨拶を述べ、平成23年度事業は無事終了したことを報告。さらに平成24年度事業計画について十分な審議と事業実施にあたっての協力をお願いした。またスポーツ健康産業の動向に触れるとともに、2020年夏季オリンピック・パラリンピック東京招致に向けて本連合会として応援することを表明した。

議事録署名人の選出の後、議事に入り、平成23年度の事業報告、平成24年度の事業計画、平成23年度決算報告、平成24年度収支予算書(案)、理事交代の件、定款変更(案)承認の件(事務所移転に伴うもの)などの案件が審議され、すべて拍手をもって可決承認された。



第24回通常総会



第67回 理事会風景

第67回 理事会

同日、総会に先立って第67回理事会が開催された。出席は本人出席17名、欠席12名。定足数の2分の1以上の出席があるため理事会は有効成立。斎藤会長が議長に選出された。

議長は謝辞を述べるとともに平成23年度事業の無事終了を報告。また平成24年度事業計画について十分な審議と事業実施にあたっての協力をお願いした。さらに当連合会の現状として、経営合理化の推進状況と収益増強事業の推移、また一層の経営合理化のため事務所縮小移転の計画をすすめることや、新規事業参入の可能性などについて報告した。

その後、開催シンポジウム、情報交換会、地域・スポーツ振興賞、スポーツ&レジャーフェスティバル、医療生活産業の品質認証調査および機関誌JSHIF発行などの平成23年度事業の活動、経済産業省による立入検査結果などについて報告がなされ、全員異議なく拍手をもって承認された。引き続き審議に入り、平成23年度決算報告、平成24年度事業計画案、各部会活動案などが諮られ、すべての議事が承認され、第67回理事会は終了した。

平成23年度 事業活動概要

- 事業部会 「第7回シンポジウム」「第8回シンポジウム」「第1回情報交換会」「第4回地域・スポーツ振興賞」
- 地域スポーツ振興部会 「2011スポーツ&レジャーフェスティバル(財団法人JKA補助事業)」
- 広報宣伝・調査部会 「医療生活産業の品質認証調査」。機関誌JSHIFの発行。
- 公益社団法人への移行について
- その他の事業「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2012」「日本スポーツ産業学会への支援」他

平成24年度 事業計画

- 事業部会 「情報交換会」「シンポジウム」「地域・スポーツ振興賞事業」
- 地域スポーツ振興部会 「市民生涯スポーツ大祭(財団法人JKA補助事業)」
- 広報宣伝・調査部会 「機関誌JSHIF」「調査研究事業」
- その他の事業 「アドバイザースタッフ」「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2013」「日本スポーツ産業学会」

■公益社団法人へ移行しました

本連合会は、公益法人制度改革の実施に伴い、理事会、総会の承認を得て平成23年9月7日付けで公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づいて内閣総理大臣あてに公益法人改革三法に基づく公益社団法人への移行申請を行いました。その申請に対し、内閣総理大臣から平成24年3月23日付けで認定書の交付がなされ、本連合会は公益社団法人の登記をして平成24年4月1日から公益社団法人へ移行しました。

■事務所移転のお知らせ

理事会報告でも触れられたように本連合会は事務所の縮小移転を予定しています。会員の皆様にはなにかとご迷惑をおかけしますが、よろしくご了解いただければ幸いです。

レジャー白書から見える スポーツ産業の現状と新しい動き

平成24年1月19日(木)、弘済会館において「平成23年度第1回情報交換会」が開かれた。テーマは「レジャー白書から見えるスポーツ産業の現状と新しい動き」。講師の柳田尚也氏、山口有次氏による講演の一部を掲載する(抜粋要旨)。またこの講演の後、全員参加による情報交換が行われた。



講演／『演題：レジャー白書から見える日本のスポーツと余暇』

講師 | 柳田 尚也氏
公益財団法人日本生産性本部
余暇創研主任研究員

講師 | 山口 有次氏
桜美林大学 教授



柳田 「レジャー白書2011」は平成22年までの動きを分析しています。内容を一言でいいますと「多様化」がキーワードでした。ひとつには既存の余暇市場が全般に伸び悩んだという印象があり、出来上がっている成熟レジャー活動ではない新しい部分、つまりニューレジャーが、実は活発だった。既存市場の伸び悩みと新しい需要の胎動といったような感じでしょうか。

さらに大きく動いているのがレジャーシーンの「デジタル化」です。デジタルの中だけで完結している活動ではなく、いろいろなレジャー活動を支援し、フォローしたりサポートしたりするタイプの使われ方です。そういうさまざまな角度のデジタル化が急速に進行しています。

まず需要サイドから見ますと1位がドライブ、2位国内観光、3位が外食。これは不動の3点セットなのですが、その中で最近の動きとしては、外食の低落があげられます。では比較的元気なのは何かといいますと、映画。そして動物園、水族館、科学館などのミージアム。

ではスポーツにおいてはどうか。これまで参加人口が多かったジョギング、マラソン、あるいはボウリング、ゴルフなど、減少の傾向がはっきり出ています。

供給サイドを見ますと、これもぜんたいに縮小傾向がつづいています。とくにパチンコ市場の減少が目立ちました。しかしこうした傾向の中で、たとえばファッションとしての「ランニングドレス」人気とか、映画館使用のマルチコンテンツ化、カラオケルームの「レディースルーム」など。マス向けではなくお客さんを絞り込んでいくようなサービス戦略が目立ったように思います。

デジタル化の例としては、たとえばサッカーくじ、競輪競馬。インターネット投票などデジタル活用度が非常に高いですね。ビデオの作成とか、スマートフォンを使って音楽をダウンロードしたり、あるいはゲームや碁、将棋、麻雀などネットで対戦するとか。デジタルの世界で完結するのではなく、リアルな活動とデジタル活動が融合・循環するような関係も生まれているのが特徴です。

山口 総括すると、レジャー産業の市場規模そのものは減っていますが、減った分がレジャーの多様化、デジタル化など、既存のレジャー種目以外のところに相当移ってきています。市場そのものは減っているものの、それを補っている部分が相当にあると考えています。

全体的な傾向としては、客単価の下落は確実に進んでいます。しかし同時に、一部で高額商品の人気が出ています。ポイントをおさえれば高額商品でいけるということがレジャー業界でも認められています。

先端的な例としては映画です。3D映画と映画館のマルチコンテンツ化によって客単価は上がり、興行収入も上がりました。特筆すべきものと思います。スポーツでも、最近では高級・高価なスポーツ自転車売られています。専門店も増えてるし、100万、200万という自転車もけっこう売られている。また高級なゴルフクラブ、大きくイノベーションしたゴルフクラブは高くても売られています。カメラもミラーレスとかレトロなデザインのカメラは10万円以上の高額なものであっても売られています。つまり高額でも、ちゃんとポイントを押さえれば売れるというのがレジャー産業全般の現象として見られます。

いままでスポーツ業界とファッション業界は別々に存在していました。しかし近年は、スポーツ×ファッションということで、ファッション業界がスポーツテイストを取り入れる、あるいはスポーツ業界がファッション性を高めていくという動きです。これは連携関係ではなく、両業界のまともな競争になってきています。ランニング用スカートとか山ガールの山スカートとか、よく考えると機能性はない。あえてスカートでなくてもいいわけですが、でもスカートだから売れている。こうしたファッション性を優先して考えていかないと戦略を誤るのではないかと思います。これはフィットネス業界でも同じ。機能だけを考えるのではなく、環境のいいファッション性の高いところのほうが気持ちがいい。そういう演出がますます大事になってくるのではないのでしょうか。

第8回シンポジウム

スポーツと健康産業で 日本を元気に!!

3月6日、東京都千代田区の如水会館にて第8回シンポジウムが開催された。社団法人日本イベント産業振興協会 専務理事・事務局長 太田正治氏による『イベントのチカラでニッポンを元気に』をテーマとした講演。続いて経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長 藤本康二氏により、日本経済の切り札として経済産業省が押し進めている新成長戦略、医療・介護周辺サービスの新たな創出事業の中核である『ヘルスケア産業の可能性』について講演をいただいた。

また第4回地域・スポーツ振興賞の授賞式も同日開催され、最優秀賞など6団体が表彰された。



『イベントのチカラでニッポンを元気に』

社団法人日本イベント産業振興協会 専務理事・事務局長
太田 正治 氏

講演

『ヘルスケア産業の可能性』

経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長
藤本 康二 氏

第4回 地域・スポーツ振興賞

事業を通じてスポーツ健康産業の振興を図り、地域活性化へ貢献した団体・グループを表彰する「第4回地域・スポーツ振興賞」の授賞式が行われた。

応募の中から、当連合会の選考委員会で慎重・厳正に審議し、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点が受賞。

また、受賞の石巻スポーツ振興サポートセンター 松村善行氏、エクストリームシリーズ実行委員会 我部乱氏、トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会組織委員会 酒井信治氏による発表が行われた。



◀石巻スポーツ振興サポートセンターが最優秀賞を受賞



▲優秀賞
「エクストリームシリーズ」



◀優秀賞
「トライアスロンと環境」

最優秀賞 経済産業省商務情報政策局長賞

スポーツで「頑張ろう石巻！」

特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター
(宮城県石巻市)

優秀賞 日本商工会議所 奨励賞

ありのままの地域の自然を活用したアドベンチャーレース

「エクストリームシリーズ」

エクストリームシリーズ実行委員会 (東京都墨田区)

優秀賞 社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

トライアスロンと環境

トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会組織委員会
(神奈川県横浜市)

佳作

○森のウォーキングによる地域づくり

～智頭(ちず)町森林セラピー～
智頭町森林セラピー推進協議会
(鳥取県八頭郡智頭町)

○みなかみ町と株式会社デサントによる

スポーツ体感の場の提供
「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」
株式会社デサント (東京都豊島区)

○兵庫神鍋高原マラソン全国大会

兵庫神鍋高原マラソン全国大会実行委員会
(兵庫県豊岡市)

医療生活産業品質認証モデル調査 コンソーシアム

文字だけではなかなか全貌を把握しにくい「医療生活産業品質認証モデル調査」ですが、ご理解の一助としてモデル図を掲載しました。昨年度の成果を活用しフィットネス事業における品質認証規格第一次案を作成、それを利用事業者等に提示しつつ合意形成を図り、実効性の高い品質認証規格の設計を行ったものです。

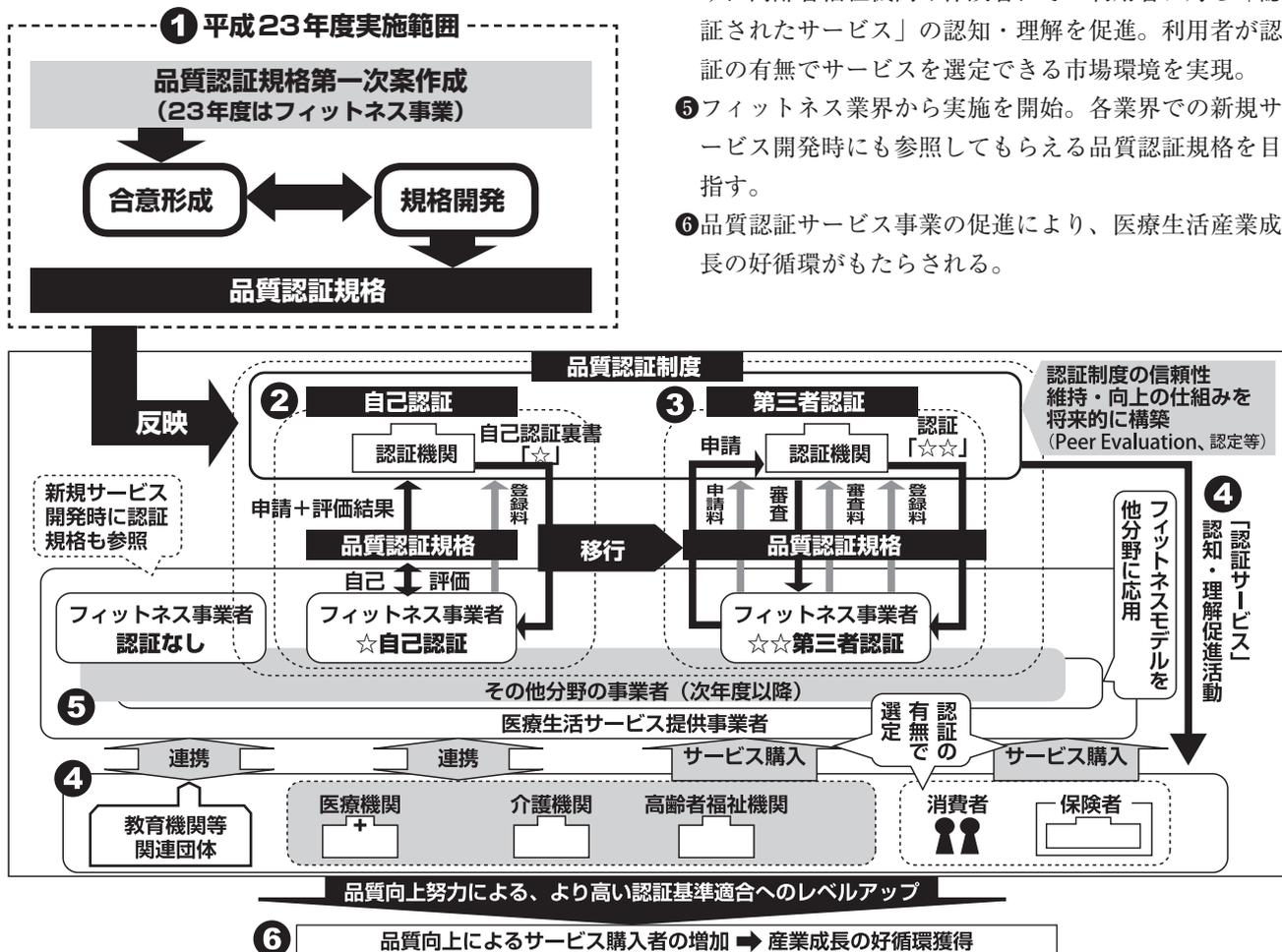
実施地域／全国

コンソーシアム代表団体／(財)日本規格協会
参加団体／(社)スポーツ健康産業団体連合会、
(一般社)健康評価施設査定機構、
学校法人立命館

背景・目的

医療・介護の需要性が増大を続けている中、医療・介護周辺サービスの品質の担保が重要となっている。しかし、サービス産業の特性上、製造物・製品のような物理的な基準を設けることや品質を管理することは難しい。そこで、当コンソーシアムでは、医療生活産業における、商品・サービスの品質認証を行うために、関連団体・事業者との合意形成をしつつ、品質認証事業モデルの構築に向けた品質規格を設計することによって、産業の振興を担うことを目的とする。

事業モデル図



事業概要

- ① 昨年度の成果を活用しフィットネス事業における品質認証規格第一次案を作成。それを利用事業者等に提示しつつ合意形成を図り、実効性の高い品質認証規格の設計を行う。
- ② 品質認証規格を用いた品質認証制度を立ち上げ、認証サービスを開始。自己認証の仕組みからスタート。
- ③ 自己認証制度で普及を図りつつ、品質認証制度の完成度と客観的な信頼性が高まるよう第三者認証制度への移行につなげる。
- ④ フィットネス事業者と医療・介護等機関との連携により、高齢者福祉機関や保険者、その利用者に対し「認証されたサービス」の認知・理解を促進。利用者が認証の有無でサービスを選定できる市場環境を実現。
- ⑤ フィットネス業界から実施を開始。各業界での新規サービス開発時にも参照してもらえる品質認証規格を目指す。
- ⑥ 品質認証サービス事業の促進により、医療生活産業成長の好循環がもたらされる。

株式会社ジェイティービー



感動のそばに、いつも。

本年、2012年3月12日、JTBグループは創立100周年を迎えることができました。1912年3月12日、JTBの前身である「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」は、外客誘致機関として当時の鉄道院の支援のもと設立されました。以来100年の間、JTBグループは常にお客様の声に耳を傾け、旅を基軸として日本と世界との交流の架け橋を担ってまいりました。

私達JTBグループの事業フィールドは、「地球を舞台とした人々の交流」です。日本最大のツーリズム企業として、日本国内では1045店舗、全世界においても33カ国、82都市、131店舗※でインバウンド、アウトバウンド、MICE、Webおよびその他の周辺ビジネスを展開し、国内及びグローバルレベルでの交流の活性化への貢献を目指しています。 ※平成24年4月1日現在

また、地域においては、DMC（ディスティネーション・マネジメント・カンパニー）として、観光まちづくり事業や集客促進の支援を通じて、交流人口を拡大するとともに、

来訪者への旅の新たな魅力の創造に努めています。

JTBでは、このDMC戦略の一環として地域における様々なスポーツイベントの企画を行っております。30年以上の歴史を誇る鹿児島県指宿市の「いぶすき菜の花マラソン」や、沖縄県の大規模サイクリングイベントである「美ら島オキナワCentury Run」の開催など、スポーツツーリズムを積極的に推進しております。

私たちは「感動のそばに、いつも。」というブランドスローガンを胸に、これからもお客様の感動と喜びのお手伝いに努め、平和で心豊かな社会の実現に貢献してまいります。地球を舞台として、ダイナミックに進化し続けるJTBグループの新たな100年の挑戦に、是非ご期待ください。

■所在地：〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11

JTBビル

■電話：03-5796-5785（旅行事業本部観光戦略室）

■ホームページ：http://www.jtb.co.jp/

会員紹介

会員の皆様の事業内容をご紹介します

ゼビオ株式会社



当社は昭和37年8月に創業しました。紳士服、カジュアル、スポーツと業態を変えながら、今年8月に創業50周年を迎えます。お客様、取引先企業様のご支援の賜物であると改めて感謝申し上げます。

2012年7月現在、ゼビオグループは16社で構成されています。当グループは「ここを動かすスポーツ。」をブランドステートメントに掲げています。スポーツ小売業という枠を超え、スポーツの魅力そのものを追求していくという意味です。スポーツの可能性を最大限に引き出し、「夢」や「感動」を地域の皆様に伝えていくことを目的としています。さらに、スポーツ業界のビジネスモデルを革新し、スポーツのビジネスとしての価値を最大化していくこと。その結果として、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、そして身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな人生の実現をお手伝いすることと考えています。

当グループはスタッフを「スポーツナビゲーター」と呼ん

でいます。スポーツの水先案内人として、お客様が要望される商品を提供するだけでなく、スポーツの楽しさをお伝えし、感動価値を最大化すべく業務に取り組んでいます。

大型スポーツ専門店のスーパースポーツゼビオ、ゴルフ専門店のヴィクトリアゴルフ、中古ゴルフのパイオニアであるゴルフパートナーなどコア事業であるスポーツの店舗が全国で約450店舗あります。今春、上海市に初の海外店舗を出店しました。国内はもとより、海外への出店を拡大していく方針です。

私たちは、「スポーツによって世の中を明るく元気にしていく」というゴールに向かって、これからも全力で取り組んでいきます。

■所在地：〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35

■電話：024-938-1111（代表）

■ホームページ：http://www1.xebio.co.jp/

2012

KEIRIN



競輪補助事業

スポーツ&レジャーフェスティバル

生涯スポーツの普及と定着を目的に、国民の健康で豊かな生活の実現を目指して、全国各地で開催しているフェスティバルです

会期 2012年9月22日(土)、23日(日)

会場 静岡市葵スクエア 青葉シンボルロード

主催 ◆スポーツ&レジャーフェスティバル運営委員会
(公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会)

後援 ◆経済産業省・文部科学省 (予定)



ナインフーズ



おもしろ自転車



サイクル発電チャレンジ



ターゲットゴルフ



サッカーナイン



ストラックアウト

出し物はすべて「予定」、イメージ写真は「2011 スポーツ&レジャーフェスティバル」の様様です。

JSHIF2012.8.No.58 (夏号)

発行 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会
Japan Sports Health Industries Federation
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル6階
Nogakushorin Bldg 6F,3-6 Kandajinbo-cho,Chiyoda-ku Tokyo 101-0051 Japan
TEL03(5276)0141 FAX03(5276)0288
ホームページアドレス <http://www.jsif.or.jp/>

発行日 2012年8月6日

発行責任者 広報宣伝・調査部会 部会長 池田朝彦

編集協力 株式会社 創ファクトリー



地下鉄九段下駅
東西線・半蔵門線・新宿線
=A-5 番出口
地下鉄神保町駅
半蔵門線・三田線・新宿線
=A-2 番出口
※駐車場はありませんので、
電車をご利用ください。